

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

②実績報告時に提出

令和 3 年 3 月 26 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 清明会	ユニット型特別養護老人ホーム はなみずき	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り ② 見守り機器導入に伴う通信環境整備	① 見守りケアシステム M2 ② LAN工事一式	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 3 年 3 月 25 日	8 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 入居者の各居室に設置してナースコールと連動し、毎日使用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・4つの動作に対する通知があり、またベッドから離床したら再度発報するので利用者の転倒・転落等の事故を未然に防ぐことが出来、今までのセンサーマットより効果が認められた。2度発報することで職員も優先順位を決めて介護に当たれるので業務効率の改善が見られた。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・利用者毎の身体状況をしっかり把握するまで身体状況によってはナースコールが頻発する為導入後数日は混乱する場合がある。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

②実績報告時に提出

令和3年3月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 陽光会	特別養護老人ホーム 陽光苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステムベッドFB-033・L-6・30V M2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和3年3月25日	5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
事故リスクの高い入所者に対して、臥床時（特に夜間帯）に常時使用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
立位や歩行が不安定で転倒などの事故リスクが高い入所者が、夜間起き上がったりすることもあり、動き出した際にセンサーを使用することにより、早い段階で気づき、駆け付けることが出来るようになりました。 また、事故を防ぐことが出来るようになり、入所者・職員共に負担の軽減に繋がりました。		
【介護ロボットの不都合な点】		
体重が軽い入所者においては、臥床している位置によって、センサーが上手く反応されないことがあり、設定方法など使いこなすまで少し時間がかかってしまいました。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和3年3月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人外房	特別養護老人ホーム外房	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	①フランスベッド 見守りケアシステム M-2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和3年3月26日	10台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
転倒リスクが高い入所者の方にベッド臥床時の見守り、転倒予防の目的で引き続き毎日使用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
5種類あるモードのなかから入所者に合わせたモードで使用しています。その為、ベッドから起き上がり、端座位になってからナースコールで知らせてくれる為、夜間帯の見守りが手薄な時間にとっても助かっている。又、日中に休まれている時でもナースコールで知らせてくれるので、 <u>訪室頻度も軽減でき介護業務の効率化に役立っている。</u> 今年度末、施設全館の Wi-Fi 工事も整備予定であるため、あわせて効果を期待している。		
【介護ロボットの不都合な点】		
※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。		
以前より同機種を使用しており、使用方法にも慣れ不都合な点はない。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3 年 3 月 19 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人開拓	特別養護老人ホームハーモニ	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム M-2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和3年2月19日	5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 体動があり、認知症により転落やずり落ちが起きやすい入居者に使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 入居者のベッド上での体動がセンサーにより知らせが入るので、夜間等巡回回数の減少に繋がっている。認知症による行動での転倒防止やベッドからの離床の危険を早期発見することが出来ている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 便利な設定を使いこなすのが難しい。		